

特定非営利活動法人 ほっとはうす 令和3年度 事業報告

1. 事業の成果

【介護サービス事業】

小規模多機能型居宅介護事業

新型コロナウイルスの到来から3年目を迎え、新たな変異株の出現で未だに収束が見通せず不安な状況は続いている。様々な基礎疾患を抱える高齢者が利用している当事業所は、常に高いリスクを抱えつつ、感染予防に配慮しながら介護支援に携わってきた。まだまだ予断を許さない状況ではあるが、感染予防対策の原則に則り利用者の健康を守ることに努めてきた。コロナ禍ではあったが、「通所」「訪問」「泊まり」の三つのサービスを柔軟に組み合わせたケアが提供できる、小規模多機能型の事業所としての特徴を生かし、他の事業所では対応できないケースについても受け入れ、ご家族のサポートも行いながらきめ細かな在宅ケアの支援に努めてきた。その結果利用登録者は月平均 24名を確保することができ、下半期後半の利用者の減少にもかかわらず、年間を通した実績は前年度のほぼ横ばいとなった。結果的に収益は減少したものの、常勤職員の退職等による人件費の減少等で収支は微増となり、安定した事業所運営を行うことができた。

また、コロナ対策としては、昨年度に続き行政から助成金をいただき、空気清浄機、アクリルパーティション、オートディスペンサーの設置や消毒用アルコール、手袋等の購入に充て、感染予防に努めた。

利用者やその家族の多種多様なニーズに対応するためには、職員の理解とスキルアップは重要な課題である。計画的な年次有給休暇の取得や残業時間の削減など、働きやすい職場づくりに努めるとともに、経験年数や職責に応じた外部研修への派遣を積極的に行い、毎月実施しているケア会議やカンファレンスを通して、職員相互のスキルアップや介護技術の向上にも取り組んできた。今後もマンパワーの強化を図りつつ利用者やご家族の介護支援に努めていきたい。

地域の方から率直なご意見や情報をいただける機会となる運営推進会議は、今年度も感染予防のため会議の自粛を余儀なくされ、年間を通して文書にての報告に留まった。利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民の方々との交流も図りながら、地域の介護サービスの一つの拠点として、近隣の方々が気軽に立ち寄っていただき、生活や身の回りの相談へのアドバイスなど身近な支援施設となるよう取り組んでいきたい。

【介護予防事業（ふれあいサロン）】

新型コロナウイルスの感染予防のため、各地域におけるふれあいサロン活動が自粛される中、高齢者の方々の居場所や交流の機会が失われている状況がまだ続いている。当法人の原点である介護予防事業「ふれあいサロン」はコロナ禍ではあるが毎月2回開催し、笑の里の利用者と交流しながら楽しく一日を過ごしていただくことができた。ビデオ体操やパズルなどで、筋力の維持向上や脳トレに取り組み、季節ごとの作品作りや行事にも参加いただいた。

小規模多機能型居宅介護事業所 笑の里

令和3年度 事業報告

<運営>

① 利用登録状況

- ・月平均 25.3名
- ・新規登録 6名(4月2名、5月1名、6月2名、11月1名、)
…相談経路：長寿福祉課2 居宅CM1 近隣3 病院1
- ・再開登録 4名
…3ヶ月毎(老健退所2名) 1月(本人1名) 1月(主治医1名)
- ・終了 14名
…死亡2(看取り) 長期入院→死亡1 サ高住入所1 GH1 中断・未更新2
サービス移行3 老健入所4(うち3ヶ月毎2・特養入所1・GH1)

- ・要介護度 平均 1.77(昨年度より0.15減)

※「老人保健施設サービス利用主体ケース」

- ・老々介護、家族の介護意識や介護力低下などにより、3～6ヶ月、施設へ入所され、約1ヶ月間だけ自宅で過ごされ、また施設へ入所される。
その1ヶ月間のサービス計画は、ほぼ毎日の通いと週1～2回の泊まりサービスで対応。

※「施設入所」

- ・独居で認知症のため在宅支援だけでは生活困難なケース、家屋の老朽化により屋根や壁が崩壊し、雨漏り、浸水被害も発生していたケースの施設入所が4件あった。

※「医療ケース」

- ・ストマ1
- ・在宅酸素3
- ・末期がん療養2

※「他職種との連携ケース」

- ・地域包括支援センターや長寿福祉課からの相談はサービスに繋がらなかった困難ケースや施設入所待機者の相談が多い。
- ・後見人制度利用者…2名
- ・利用者の主治医との面談、受診同行、毎月の情報提供(書面)等、支援が必要な独居や高齢者世帯が増えている。
介護保険外サービス支援契約者…6名 (R4年3月現在 8名)

② 利用者一人ひとりに必要適切な回数の通いサービスの提供、訪問サービスでのフォロー、泊まりサービスの調整を行い、利用者の心身状態およびご家族のサポートを行った。

- ・通い…平均約9.8名/日、ニーズに応じた計画実施。
※訪問対応のみ利用者があり、登録者数に対して1日あたりの通い人数は抑えられている。
- ・訪問…平均約310回/月、10回/日、通い送迎前後の身体介護や家事支援、在宅日の食事サービス支援が増加。服薬、掃除、買い物、通院や薬の受け取り・医療費支払い等、適切に対応。
※R3年10月に施設入所や入院、死亡者があり、11月頃から訪問対応者が減少。
独居世帯も登録者数の4.5割となり、訪問対応は必須。
- ・泊まり…サービス計画に基づき、必要に応じたサービス回数を実施。
平均4.3/回、約7回/月(4～11回)稼働。

③ 事故報告

- ・市に報告したケースはなし。
- ・ヒヤリハットによる発見と対策を講じ、事故を未然に防ぐ努力をしている。

- ④ 職員体制
- ・R3年7月 非常勤調理員 退職
 - ・R3年8月 非常勤調理員 入職
 - ・R3年11月 常勤介護士 退職
 - ・R3年10月～R4年3月 非常勤介護士 休職

※R3年10月以降の介護職員欠員があり、登録者を抑制しつつ体制を維持した

<取り組み>

- ① 登録者の心身の状態変化に伴う要介護度の見直しを適宜、モニタリングし、適切な要介護度の認定のもと、一人ひとりの能力、レベルに応じたサービスを提供。
- ② コロナ感染症対策として、環境整備、手指消毒やうがい、室内や送迎車内の換気・消毒を行い、業務にあたった。適宜、PCR検査を実施した。
ご家族の行事参加は見合わせている。
市の指導により、運営推进会議は書面会議を継続中。
 - ・R3年9月…登録者1名のコロナ感染、濃厚接触者の利用者の休止、職員の休職実行。
職員、利用者への感染拡大はなし。
 - ・職員や登録者のプライベートでコロナ感染が確認されたケースもあったが感染者はなし。
- ③ 防災訓練を内部で実施。
日々の設備・備品点検は、毎日実施・記録し、防災の意識につなげている。

<日課・月間予定>

- ① 行事
 - ・事業所内でのレクリエーション、ドライブを実施
- ② 研修
 - ・計画に基づき、外部の現任者研修に参加
- ③ 会議
 - ・「ケア会議」…毎月1回実施。業務改善・ケアの統一化・リスクマネジメントを主旨とした。
 - ・「カンファレンス」…中間モニタリングを行うこととし、毎月半ばに実施。
ケア目標と取り組み内容の確認を行い、ケアを充実していくための方策を検討、実施。

<ふれあいサロン>

- ① ボランティア協力のもと、自宅での閉じこもり予防、外出支援として、毎月2回、開業。
- ② 生活や身のまわりの困りごとなどの相談に応じ、要介護状態にならないようアドバイスしたり、福祉や介護保険制度の専門的な相談に応じた。
- ③ 現在、利用者3名。

	行事・レクリエーション		研修・評価		会議等	防災	その他
	内容		内容		内容	内容	内容
4月	1~7 16.17 24.30	花見ドライブ お菓子づくり 花見弁当			77会議(6日) カンファレンス(19日)	自主点検	笑だより発行 サロ(2.24)
5月	3.4.6 7.8	花見ドライブ(なんじゃもんじゃ) 工作(ハーバリウム)			カンファレンス(18日)・77会議(6日) 小多機部会(20日)	自主点検 防災訓練(25日)	笑だより発行・サロ(7.22) ノウウイルス・0-157予防喚起
6月	18.19	父の日感謝デー	18	中堅期現任	77会議(3日)・カンファレンス(15日) 運営推進会議書面(21日)	自主点検	笑だより発行・サロ(18.26) ほっとはうす総会(17)
7月	6.7	七夕まつり	12.19 7.15.27	中堅期現任 チームリーダー養成	77会議(5日)・カンファレンス(16日) 小多機部会(15日)	自主点検	笑だより発行 サロ(6.24)
8月	20.21	夏まつり	2.11. 23.30	チームリーダー養成	77会議(6日)・カンファレンス17日) 運営推進会議書面(21日)	自主点検	笑だより発行 サロ(5.21)
9月	16.17	敬老祝賀会	8.15.27	チームリーダー養成	77会議(3日)・カンファレンス(16日) 小多機部会(22日)	自主点検	笑だより発行 サロ(2.16)
10月	適宜 29.30	ドライブ 運動会	5.15.27 1.6	チームリーダー養成 新任期現任	77会議(4日)・カンファレンス(18日) 運営推進会議書面(18日)	自主点検	笑だより発行・サロ(7.30) インフルエンザ 予防接種(21.22)
11月	19.24	紅葉狩りドライブ(太郎坊)	2.8.15 29	チームリーダー養成	77会議(4日)・カンファレンス(19日) 小多機部会(24日)	自主点検	笑だより発行 サロ(11.27)
12月	24.25	クリスマス会	22 15	生活機能向上支援WEB 小規模部会DVD・自己評価	77会議(2日)・カンファレンス(15日) 運営推進会議(25日)	自主点検	笑だより発行・サロ(10.24) 大雪休業(27)
1月	10.11 29	もちつき 獅子舞	14	新任期現任	77会議(5日)・カンファレンス(28日) 運営推進会議(13日) 小多機部会(26日書面)	自主点検	笑だより発行・サロ(13.28) 年始通い休業(1.2.3)
2月	3.4	節分豆まき	28	管理者WEB 外部評価	77会議(4日)・カンファレンス(15日) 運営推進会議書面(17日)	自主点検	笑だより発行・サロ(3.26) サービス情報公表
3月	3.4 25	ひな祭り お花見ドライブ			77会議(4日)カンファレンス(16日) 運営推進会議書面(22日)・	自主点検	笑だより発行・サロ(12.24)

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
高齢者の介護 事業及び介護 支援事業	小規模 多機能型 居宅介護事業	通年 <通所> 9:00~15:45 (361日) <訪問> 随時 (361日) <宿泊> 18:00~9:00 (85日)	近江八幡市 千僧供町 127-1		<利用登録者> 月平均 24人 <通所利用> 5~14人/日 296人/月 3,552人/年 <訪問利用> 6~10人/日 310人/月 3,721人/年 <宿泊利用> 4~5人/日 30人/月 357人/年	44,222
介護予防支援 事業	ふれあい サロン事業	毎月2回 10:00~15:30 (年間24回)	近江八幡市 千僧供町 127-1 「笑の里」にて	ボランティア 1名	介護認定を受け ていない高齢者 2~3名/回	

※詳細については利用状況を参照

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	支出額 (千円)
なし					

令和3年度「笑の里」利用状況

利用件数

	通所		宿泊		訪問	
	件数	稼働日	件数	稼働日	件数	稼働日
4月	306	30	36	8	302	30
5月	335	31	33	11	360	31
6月	345	30	43	9	333	30
7月	354	31	40	10	369	31
8月	327	31	36	8	407	31
9月	316	30	37	8	415	30
10月	335	31	41	9	418	31
11月	263	30	20	6	328	30
12月	242	30	16	4	229	30
1月	238	28	19	4	215	28
2月	251	28	19	4	170	28
3月	240	31	17	4	175	31
計	3,552	361	357	85	3,721	361
月平均	296	30	30	7	310	30

稼働率

	定員/日	平均利用者数 (人/日)			平均介護度	新規(再)利用者(人)	退所者数(人)
		通所	宿泊	訪問			
4月	通所18人 宿泊5人	10.2	4.5	10.0	1.91	2	
5月		10.8	3.0	11.6	1.91	2	2
6月		11.5	4.8	11.1	1.92	2	
7月		11.4	4.0	11.9	1.83		2
8月		10.5	4.5	13.1	1.95		2
9月		10.5	4.6	13.8	2.00	2	
10月		10.8	4.6	13.5	2.00		1
11月		8.8	3.3	10.9	1.68	1	2
12月		8.1	4.0	7.6	1.55		2
1月		8.5	4.8	7.7	1.57	1	2
2月		9.0	4.8	6.1	1.61	1	2
3月		7.7	4.3	5.6	1.62		2
年間平均			9.9	4.3	10.3	1.79	

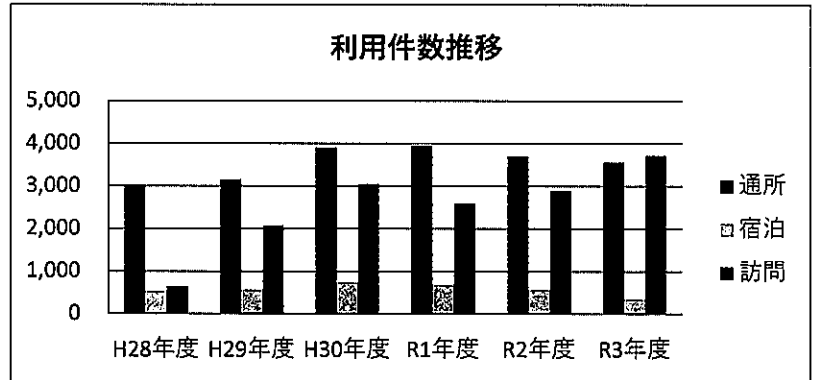
介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	12	12	13	13	11	11	11	12	12	11	12	11	141
要介護2	6	6	6	5	5	6	6	5	5	5	3	2	60
要介護3	3	3	4	3	3	4	4	3	3	3	2	2	37
要介護4	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	14
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	10
小計	24	24	26	24	22	24	23	22	20	19	18	16	262
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15
小計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
総計	26	26	28	26	24	26	25	24	22	21	20	18	286

笑の里 利用者数の推移

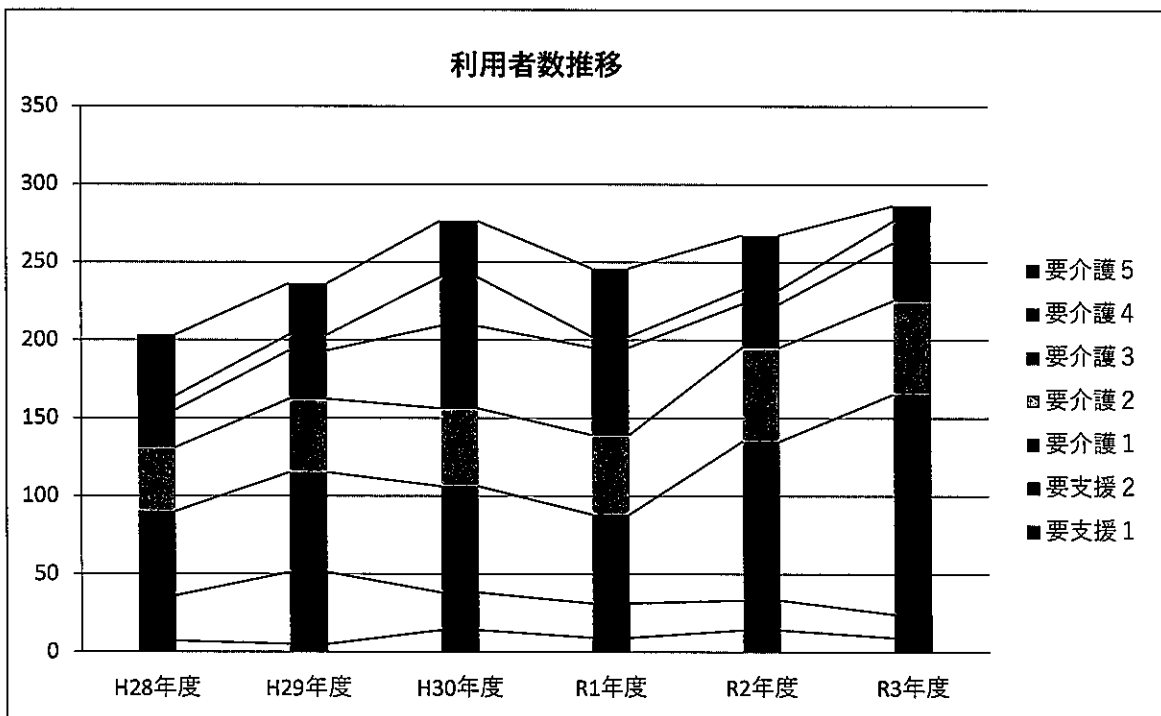
※利用件数

	通所	宿泊	訪問
H28年度	3,017	539	640
H29年度	3,146	575	2,075
H30年度	3,908	747	3,052
R1年度	3,946	690	2,599
R2年度	3,688	570	2,892
R3年度	3,552	357	3,721



※利用者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
H28年度	7	29	54	41	24	9	39	203	2.6
H29年度	5	46	64	47	31	10	33	236	2.5
H30年度	14	24	68	50	53	31	36	276	2.7
R1年度	9	22	57	51	56	7	44	246	2.7
R2年度	14	19	102	60	28	9	35	267	2.2
R3年度	9	15	141	60	37	14	10	286	1.8



特定非営利活動に係る活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1. 介護保険収入		50,322,819
介護報酬収入	41,107,590	
利用者負担金収入	9,215,229	
2. 助成金収入		257,500
コロナ対策助成金	257,500	
3. 雑収入		547,800
雑収入	547,800	
4. 事業収入		59,200
サロン事業	59,200	
経常収益合計		51,187,319
II 経常費用		
1. 事業費		44,221,992
(1) 人件費		36,462,256
職員給料手当	31,269,758	
法定福利費	4,162,610	
福利厚生費	1,029,888	
(2) その他経費		7,759,736
旅費交通費	29,590	
研修費	2,420	
教養娯楽費	79,049	
諸謝金	30,480	
通信運搬費	334,356	
消耗品費	394,079	
什器備品費	370,776	
保健衛生費	233,232	
食材費	1,987,021	
光熱水費	884,019	
修繕料	32,110	
印刷製本費	78,623	
燃料費	723,887	
車輛費	430,390	
保険料	868,990	
委託料	317,144	
手数料	62,430	
賃借料	749,140	
諸会費	41,000	
地代家賃	111,000	
2. 管理費		2,662,680
(1) 人件費		1,800,000
役員報酬	1,800,000	
(2) その他経費		862,680
交際費	73,774	
会議費	37,137	
旅費交通費	55,060	
租税公課	167,709	
支払報酬	528,000	
寄付金	1,000	
3. 減価償却費		2,438,355
減価償却費	2,438,355	
経常費用合計		49,323,027
当期経常増減額		1,864,292
III 経常外収益		
受取利息		3,993
利息	3,993	
経常外収益合計		3,993
税引前当期正味財産増減額		1,868,285
法人税・住民税及び事業税		480,500
当期正味財産増減額		1,387,785
前期繰越正味財産額		112,762,036
次期繰越正味財産額		114,149,821

令和3年度特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目・摘 要	金 額	(単位:円)
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	253,184	
普通預金	23,030,326	
定期預金	70,007,378	
未収金 (介護報酬)	5,816,212	
流動資産合計		99,107,100
2 固定資産		
【有形固定資産】		
建 物	15,803,282	
建物付属設備	1,532,498	
車輛運搬具	215,204	
器具および備品	19,959	
土 地	1,500,000	
固定資産合計		19,070,943
資産の部 合計		118,178,043
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	3,507,074	
未払法人税等	480,500	
預り金	40,648	
流動負債合計		4,028,222
負債の部 合計		4,028,222
III 純資産の部		
前期繰越正味財産	112,762,036	
当期正味財産増減額	1,387,785	
純資産合計		114,149,821
純資産の部 合計		114,149,821
負債及び純資産の部合計		118,178,043

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

- ・財務諸表は、中小企業会計基準により作成。
- ・収益及び費用の計上基準 …… 発生主義
- ・固定資産の減価償却の方法
建物 …… 定額法
付属設備・車両運搬具・什器備品 …… 200%定率法
- ・有価証券の評価基準及び評価方法 …… 取得原価法

2. 固定資産(減価償却)の増減内訳

科目	取得価額	期首帳簿価額	取得	減少	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
建物	25,005,186	16,953,520			1,150,238	15,803,282	9,201,904
付属設備	8,377,000	2,276,235			743,737	1,532,498	6,844,502
車両運搬具	5,559,667	720,500			505,296	215,204	5,344,463
器具・備品	460,988	59,043			39,084	19,959	441,029
ソフトウェア	210,000	0			0	0	210,000
計	39,612,841	20,009,298	0	0	2,438,355	17,570,943	22,041,898

3. 役員等との債権債務は一切ない。

令和3年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I. 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金手許有高	253,184	
普通預金 (滋賀銀行八幡南出張所)	23,030,326	
定期預金	70,007,378	
未収金 介護報酬 (2.3月分)	5,816,212	
流動資産合計		99,107,100
2 固定資産		
建 物 (笑の里)	15,803,282	
建物付属設備 (スプリンクラー、物置、トイレ)	1,532,498	
車両運搬具	215,204	
器具および備品	19,959	
土 地 (近江八幡市)	1,500,000	
固定資産合計		19,070,943
資産の部 合計		118,178,043
II. 負債の部		
1 流動負債		
未払金 (3月分給与等)	3,507,074	
未払法人税等	480,500	
預り金 (雇用保険料)	40,648	
流動負債合計		4,028,222
負債の部 合計		4,028,222
正味財産合計		114,149,821